

# 第 1 章 『自然と歴史文化の交流のまち』

## 歴史を尊ぶまち栗熊の概況

### 1、沿革

栗熊地区は、古くは隈玉郷その後栗隈郷（また栗熊郷）に属する栗熊東村、栗熊西村二村であったが、明治5年5月区画編成により第55区に編入され、明治7年2月、20大区55小区に改められ、同年4月栗熊東村は第20大区1小区、栗熊西村は同大区2小区に属し、同8年7月更に8大区に改められ小区は今まで通りとなり、同年8月両村は二大区となった（小区不詳）。明治9年9月には5大区に変わり栗熊東は7小区、栗熊西は8小区に編入され、明治11年12月置郡の際各々独立した行政区となり旧両村復し、明治22年12月に合併して栗熊村と呼ばれ旧村名は大字名として残り、昭和26年4月1日富熊村と合併して久万玉村となった。

昭和34年「町村合併促進法」によって久万玉村と岡田村が合併して綾歌町が誕生した。

平成17年3月22日丸亀市、飯山町、綾歌町が合併し、丸亀市となり、丸亀市綾歌町栗熊西、東の大字で編成今日に至る。

### 2、位置・地勢・現状

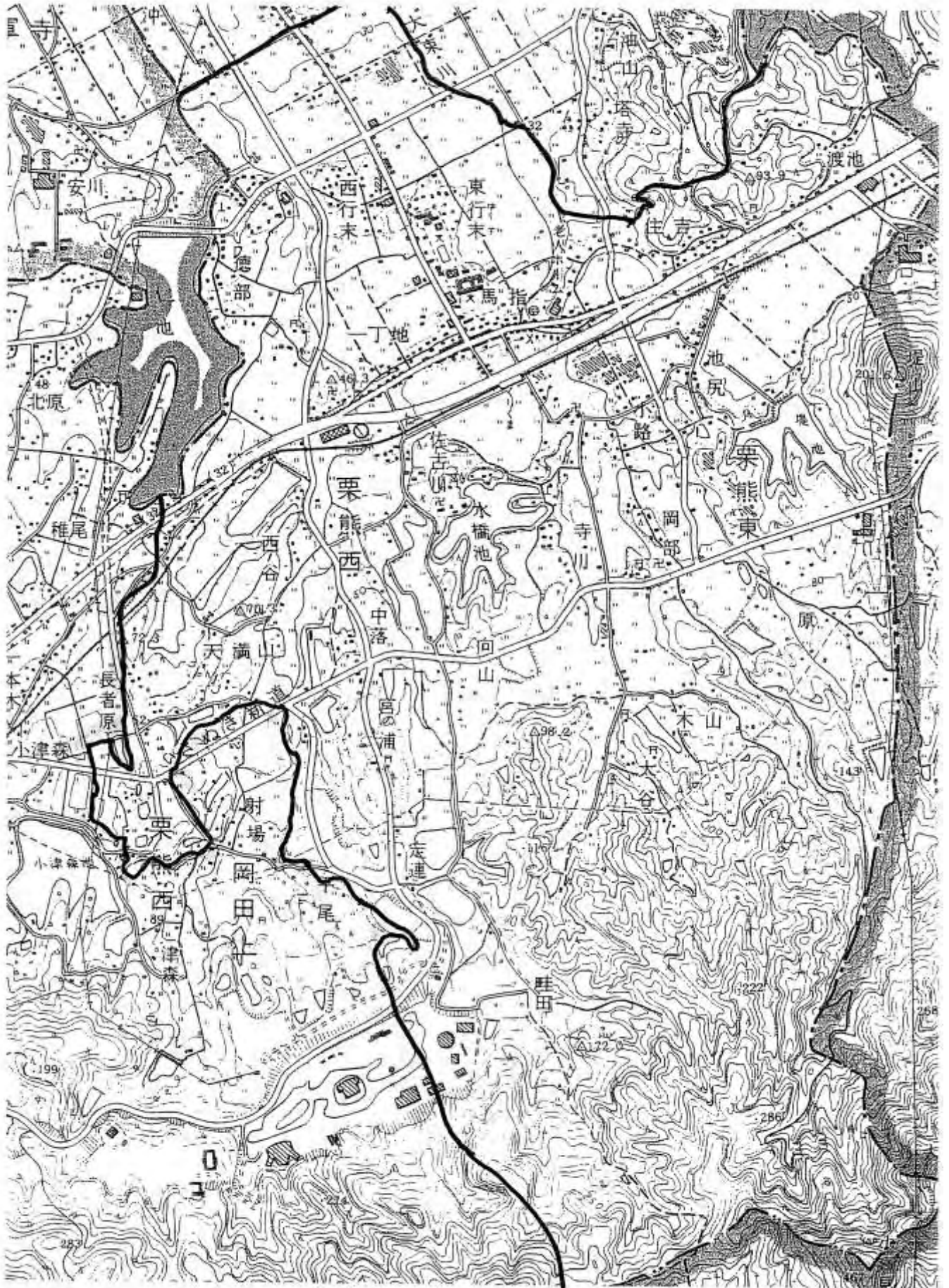
本地区は東に堤山、南に高見峰、猫山、緑など美しい自然やきれいな空気があり、平野には大東川が流れ、ため池も多く、水と緑に恵まれた地域です。市街地は国道32号に沿って開けています。北部には国指定の快天山古墳が地域を懐古させ、歴史を尊ぶ気持ちが住民に高まっている。

地区内には、ほ場整備等がなされ優良農地が多くあり、稲作、菊の栽培、キャベツ、レタスの野菜栽培が盛んで市場からも信用を確立している。

近年は農地と宅地が混在しており、営農環境の維持が求められています。

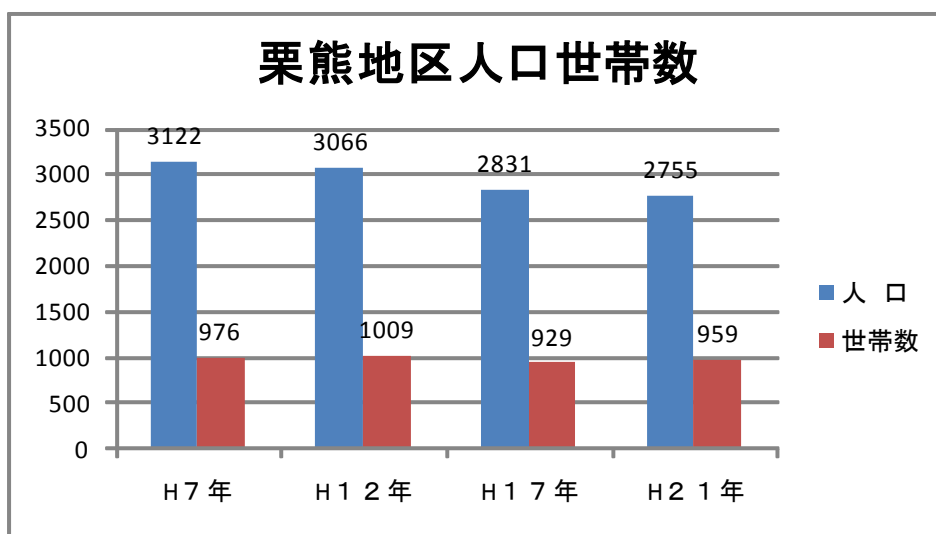
瀬戸内海式気候に属するため、全般に温暖で温度較差も少なく、平均気温は15,2℃ですが、夏は蒸し暑くなります。降水量は少なく年間降水量1,290mm程度である。

人々の生活においては、近所づきあいや子育て、高齢者対象の「いきいきサロン」などの地域活動を通じた良好なコミュニティが息づいている。



栗熊地区字界図

### 3、人口・世帯数推移



### 年齢別人口（栗熊校区）

平成21年4月1日現在（北岡地区含む）

年齢	男	女	合計	年齢	男	女	合計
0~10	128	121	249	51~60	224	241	465
11~20	127	128	255	61~70	212	188	400
21~30	162	156	318	71~80	157	212	369
31~40	174	162	336	81~90	83	146	229

#### 産業別就業者

産業(大分類)男女別15歳以上就業者数

平成18年10月1日現在

分類項目	総数	農業	林業	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給	情報通信業	運輸業	卸売・小売業	金融・保険業	不動産業	飲食店・宿泊業	医療・福祉	教育・学習支援	複合サービス業	サービス業	公務	分類不能の産業	
栗熊東	総数	739	135	1	4	75	109	4	5	30	111	13	1	24	71	41	14	14	25	6
	男	418	72	1	1	65	74	4	4	25	53	5	1	7	17	17	11	11	15	5
	女	321	63		3	10	35		1	5	58	8		17	54	24	3	3	10	1
栗熊西	総数	79				52	99	1	7	35	99	8	3	35	70	50	12	12	20	31
	男	43				43	54	1	4	30	49	2	2	13	13	19	7	7	15	14
栗熊南	総数	333	36			9	45		3	5	50	6	1	22	57	31	5	5	5	17

## 就業人口

第1次産業の就業者数が減少し、第3次産業の就業者数が増加傾向になっている。



## 産業の現状

### 農業

本地域の農業は、稲作を中心に瀬戸内海性の温暖・小雨の気候と京阪神など大都市に市場が近いことから、キャベツ、レタス、白菜等の野菜電照菊など付加価値の高い作物が生産されているが、近年は農地と宅地が混在化しており、営農関係の維持が求められている。

## 商 業

消費形態の変化に伴い、近隣市町への流出が顕著になるとともに経営者の高齢化と後継者難により商店数の減少が続いている。

近隣の町に大型店が、オープンし消費者が流出し地域商店での購買が減少している。地域の特性を生かして、暖かさと小回りのきく店舗を目指して販路拡大に努力している。

## 工 業

既存企業の近代化・高度化不況対策の推進を図り、農林・畜産・工

業  
の育成、地場産  
業の創出、地域  
の風土や素材を  
生かした工業の  
振興



を 図

る。

## 5、生活基盤施設

栗熊地区生活基盤施設

分 野	施 設	備 考
教育、子育て	小学校	栗熊小学校
	幼稚園	綾歌幼稚園
	保育所	栗熊保育所
	障害者施設	うぶすな園
高齢者福祉	特別養護老人ホーム等	綾歌荘・華
公共交通	バス・電車	コミュニティバス・琴電

地区外との道路	国道、県道、市道	国道32号、県道22、県道278
地区内の道路		市道
		農道
		農水省道路
治安・防災	派出所	栗熊派出所
	消防団	第14分団
医療機関	病院・診療所	医科2軒・接骨院1軒・歯科医院1軒
商店	スーパー	1軒
	コンビニエンスストア	3軒
公園	市指定	三ツ池公園・天満公園・行末公園
	その他	
金融機関		香川県農協
郵便局		あり
集会施設	公的集会場	栗熊コミュニティセンター・アイレックス
	民営集会場	西馬指公民館・馬指東公民館
		馬指公民館・西谷公民館
		日の出集落センター・住吉公民館
		東行末公民館・荒徳部自治会館
		定蓮宮浦公民館・木山集落センター

## 6、文化財

当地区には、国指定快天山古墳、宇閑神社古墳等多数の古墳があり、緑の山並みを背景に広がる田園風景、その中で、住民が生き活きと生活を楽しみ、緑と田園、歴史文化を大切にしまち



- 1 佐古川・窪田遺跡
- 2 佐古川遺跡
- 3 行末遺跡
- 4 行末西遺跡
- 5 次見遺跡
- 6 浦山遺跡
- 7 快天山古墳
- 8 薬師山古墳
- 9 陣の丸古墳群
- 10 地神山古墳群
- 11 石塚山古墳群
- 12

づくりを目指す。

## 7、コミュニティ構成団体

- 1、自治会（47）
- 2、栗熊老壮会
- 3、栗熊婦人会
- 4、栗熊母子愛育班
- 5、民生児童委員
- 6、食生活改善推進協議会
- 7、栗熊保育所・栗熊保育所保護者会
- 8、栗熊小学校・栗熊小学校 PTA
- 9、あやうた幼稚園・あやうた幼稚園 PTA
- 10、綾歌中学校・綾歌中学校 PTA
- 11、栗熊校区子ども会
- 12、消防団
- 13、栗熊駐在所
- 14、碧空会
- 15、ガールスカウト
- 16、福祉保健推進員

## 第2章 まちづくり基本構想

本地区も生活ニーズの多様化・高度化への対応、地場産業の育成、安心して子育てができる環境づくり、高齢者の自立支援体制の整備など、様々な課題が生じています。本計画は、本地域の歴史・自然・文化・産業の地域基盤を生かし、本地域の将来像を次のように定め、地区住民が力をあわせたまちづくりを進めます。

(1) 将来像 『自然と歴史文化の交流のまち』

(2) シンボルテーマ 『歴史を尊ぶまち栗熊』

(3) まちづくりの基本的な考え方

- ① 身近な自然と歴史文化を尊ぶまちづくり
- ② 日常生活が営みやすく賑わいと活力のあるまちづくり
- ③ 誰もが健康で安心して暮らせるまちづくり
- ④ 心豊かな人が育ち誰もが生きがいを感じるまちづくり
- ⑤ 自治会の活性化と自立のまちづくり

### 第3章 まちづくりのテーマと施策

#### 1、身近な自然と歴史文化を尊ぶまちづくり

- ① 農村風景と豊かな自然環境の保全
- ② 史跡の保存・整備
- ③ 水辺環境の整備



④ 金毘羅街道の修景整備

2、日常生活が営みやすく賑わいと活力のあるまちづくり

- ① 公共交通の維持・充実
- ② 良好な住環境の形成
- ③ 働く場所や、新たな産業の創出
- ④ 歩行者通行空間の確保

3、誰もが健康で安心して暮らせるまちづくり

- ① 高齢者福祉、障害者福祉の充実
- ② 防犯、防災、交通安全対策の充実
- ③ 安心して子育てができるまち
- ④ 健康づくりの促進

4、心豊かな人が育ち誰もが生きがいを感じるまちづくり

- ① 幼児教育の充実
- ② 学校教育の充実
- ③ 生涯教育の充実

5、自治会の活性化と自立のまちづくり

- ① 花のまちづくりの推進
- ② ボランティア参加の推進
- ③ 住民参加の推進
- ④ 地域内情報の発信